

申請者	学科名	造形デザイン学科	職名	教授	氏名	嘉数 彰彦
調査研究課題	リサイクル型吸水性ポリマーを用いた、県大版「新規介護用尿パッド」の実用化					
調査研究組織		氏名	所属・職	専門分野	役割分担	
	代表	嘉数 彰彦	造形デザイン学科・教授	デザイン	研究の総括、商品開発	
	分担者	谷口 敏代	保健福祉学部 保健福祉学科・教授	介護福祉学	介護福祉観点からの情報提供や評価など	
		中島 伸佳	保健福祉学部 栄養学科 准教授	食品加工学	介護用尿パッドなどの「試作品」の科学的な観点からの検査・評価など	
		荒木 悟	日本被服(株)・部長	アパレル企画	試作制作、商品企画	
調査研究実績の概要	<p>超高齢社会を迎えた日本では、高齢者の介護は避けられないものとなっている。高齢者の介護において必需品となるのが介護用おむつ（尿パッド）であるが、利便性や機能性において問題のあるものが多く見受けられる。また、高齢者の使用する紙おむつの消費量は年々増加の一途をたどっており、こうした廃棄物は環境問題においても多大な影響を及ぼしている。</p> <p>本研究ではこうした現状を打開すべく、高吸収性かつ高乾燥性などの機能性と再利用性を兼ね備えた「介護用おむつ（尿パッド）」の開発をすすめた。吸水層（担体）として「新規尿パッド」に用いるポリアクリルアミドの「凝集性（ゲルの塊形成）の防止」、「乾燥速度の上昇」、「柔軟性の増大（使用時の不快感の減少）」及び「リサイクル回数の増量」などを満たしうる、効果的な「高分子添加剤」の選定はこれまでの研究で明らかになっていた。しかし、尿パッドの開発において、尿の透過性があり、洗濯時の高分子の流失が起こらない繊維素材が必須となる。そこで様々な素材で実験を行ったが、本研究の趣旨に沿う繊維素材を選定することが出来なかった。</p> <p>本研究の共同研究者である日本被服(株)の好意により、研究費の支出はなかった。今後、尿パッドの材質の開発に目処が立てば、再度研究を進めることとした。</p>					
	<p>（地域貢献への反映を踏まえて記述のこと）</p>					